

ブラスタロスのカルト

Cult of Brastalos

マガスタの嵐の花嫁

A v s

1 . 神話と歴史

かつて“最初の精霊使い”コーラートが“一なる真実の風”を服従させ、その娘を花嫁として奪った。この夫婦から七つの風 - 北風、南風、東風、西風、そして3つの秘密の風、高き風、低き風、そして嵐の目である無風、すなわちブラスタロスが生じた。

神々の戦いの時代、スパイクに登り、浸水した“荒れ狂う海”(the Raging sea)を引き起こした叙事詩的な争いで、“深淵の恐怖”マガスタは嵐の神々を追い返し、ヴェイドラスを拘束し、ヴェイドラスの姪であるブラスタロス貢ぎ物として差し出すのに同意するまでそれは続いた。嵐の神々が自由なブラスタロスにブレーキをかけるように努めるまで、マガスタは再び嵐の神々を打ち負かし、彼の従順な花嫁になるようにブラスタロスを支配した。

スパイクが爆発し、その中心の空白から秩序を持ち去った時、その場にいた幾柱かの神々が裂け目を満たそうとその中へと飛び込んだ。ブラスタロスはそう言った神々の中の一人となり、試みた多くの中で彼女はその課題に適した数少ない中の一人であった。マガスタの助けと共に、彼女は、現実の虚無と空虚な現実との間の妥協の中に邪悪な空白を追いやった。

マガスタとブラスタロスの子どもは、致命的な竜巻と渦である。彼らは海の神々を信じぬものへの天罰であり、空気と海の出会うところに点在している。

ブラスタロスは「風」「変化」「精霊」のルーンと関係がある。

2 . カルトの生態

ブラスタロスはマガスタの妻で、コーラートの娘であるという以外ほとんど記述が無い。4つの(方向の)風はかれらの態度が非常に現世のものであり、そして二つの(隠された)風が非常に魔術的であり、“第7の風”ブラスタロスは概念、起源が神秘的である。

無風であり、第7の風としての彼女は暴力の中の平温、嵐の目である。彼女は、ウーマスが常に幾つかの場所にいるように、常に世界の中心にいと記録されている。彼女はウーマスの隠された呼吸であり、そして嵐の神々の隠された力の源、“内なる息”(the “Inner Breath”)である。時々彼女は“全ての嵐の母”(the Mother of All Storms)と呼ばれ、いくらかの作者は非常に文字どおりに受け取っており、かつ配偶者と両親と共に暮らしたいという誰もが願望の中で彼女の名前を利用している。それは嵐の神々それぞれが確かに彼ら自身に秘密の力、不変の均衡の椅子、そして暴力の表面の上の静けさを得ているということを確認しているからである。

ブラスタロスの聖祝夜はマガスタのものと一緒に祝われている。

3 . 世界におけるカルト

ブラスタロスの寺院は非常に希ではあるが、社は常にマガスタのものと同様である。マガスタが恐ろしすぎると思う人々は、ブラスタロスを好むかもしれず、従って海の長を受け入れる方針を見つけ出すかもしれない。

彼女の社では、《支配(シルフ)》を教えている。

4 . 入信者

必要条件：ブラスタロスの入信者になりたいと願う者は、POW×

5で抽象化されるテストに合格し、ブラスタロスに1ポイントのPOWを捧げなければならない。

特記：風感知 技能(知識分野 00%)は、入信者に教えられる。これにより、入信者は風速、風の性質、方向を知ることができる。入信者は約6時間内の風の変化を知ることができる。

精霊魔術：《惑い》《機敏》《魔力の検知》《呪払》《霊話》《早足》《第二の目》《かすみ》

5 . 司祭

必要条件：通常と同じ。但し、技能は以下の通り；風感知 90%、召喚 及び 浄化 50%。

一般神性魔術：全て

特殊神性魔術：《雲海集中》《支配(シルフ)》《風力減衰》《風力増大》《嵐の目》《竜巻》《風向屈折》

6 . ブラスタロス特殊神性魔術

《嵐の目》 Storm's Eye

1ポイント、遠隔、持続、複合可、再使用可

この呪文は、完全な風のエリアを作り出す。この影響のエリアは直径1m高さ3mである。このエリアの大きさの2倍の円の中の風は、この呪文の持続中、2倍のSTRになる。呪文を複合する毎に、影響エリアの大きさは2倍になる。

7 . 友好カルト

ドーマル

《天候予測》を提供する。

マガスタ

《渦潮》を提供する。

8 . この文章について

著者：Antti Rasila

翻訳者：RIZE / 奥田和幸(zorak@nifty.com)

協力：村瀬尚之氏

この文章は、著者 Antti Rasila 氏が記述したものを、RIZE が翻訳したものです。非営利の利用に限り、複製が許可されます。他媒体への転載については、RIZE にご相談下さい。

訳文におかしな点があるかもしれません。その際は、遠慮なしにご指摘ください。よろしくお願いいたします。

この文章は公式版ではありません。この文章を使用するにあたっては、各人の判断でご利用ください。この文章の使用により、何らかの害があったとしても、著者並びに翻訳者、協力者は関知しません。

注)《竜巻》については、マガスタのフルカルトライトアップ(テールズ・オブ・ザ・リーチングムーン誌10号またはRPGM65号)を参照して下さい。